



(機械でのかりとり)



(手によるかりとり)



(ヘリコプターによるしょうどく)

す。ほとんどの農家で、きかいを使ってうえていますが、山あいのごくわずかな地いきでは、手でうえているところもあります。

農やくは、作物を病気びょうきやがい虫むしから守りじょうぶにそだてるために使われます。六月から八月にかけて、農家が共同でヘリコプターやきかいを使って「しょうどく」をします。

いねかりは、天気の良い日をえらび、バインダーやコンバインを使ってかりとります。かりとったいねは、「ぼうたて」にかけてしぜんかんそうをし、だっこくします。コンバインでだっこくしたものは、ふくろにつめかんそうきにかけてから、もみすりきにかかられます。